

**JASDAQ**

平成 25 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 日特エンジニアリング株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 近藤 進茂  
(コード番号 6145)  
問 い 合 わ せ 先  
役 職 ・ 氏 名 常務取締役管理本部長 坂口 賢三  
電 話 048-837-2011

## 業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成24年11月9日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想 (A)	19,500	2,850	2,950	1,900	105.15
今回修正 (B)	19,000	2,650	2,780	935	51.75
増減額 (B-A)	△500	△200	△170	△965	
増減率 (%)	△2.6	△7.0	△5.8	△50.8	
ご参考 (前期実績) (平成 24 年 3 月期)	20,489	3,668	3,758	2,242	131.97

### 2. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想 (A)	18,000	2,450	1,450	80.25
今回修正 (B)	17,000	2,100	460	25.46
増減額 (B-A)	△1,000	△350	△990	
増減率 (%)	△5.6	△14.3	△68.3	
ご参考 (前期実績) (平成 24 年 3 月期)	18,679	2,833	1,537	90.45

### 3. 理由

#### (1) 通期連結業績予想

ヨーロッパの信用不安、新興国経済の減速などによる先行き不透明感から世界的に設備投資は緩やかな回復に止まり、売上高は前回予想を若干下回る見込みとなりました。利益につきましては、開発要素が多く総利益率の低い設備の売上げが相対的に増加したために営業利益及び経常利益が前回予想を下回り、当期純利益は繰延税金資産の取崩しによって予想を大幅に下回りました。繰延税金資産の取崩しの概要は後述のとおりであります。

(2) 通期個別業績予想

上記連結業績予想の理由に加え、日本の製造業の現地生産・現地調達が進んでおり、売上高、利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

4. 繰延税金資産の取崩しについて

平成 23 年 3 月 25 日付「特別損失の計上及び業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました「賃貸等不動産に係る減損損失」につきましては、当時の状況を踏まえスケジュールリング可能な一時差異と判断し 1,025 百万円の繰延税金資産を計上しておりましたが、本日を基準日として、当該賃貸等不動産に対し賃借人との間で新たな賃貸借契約が開始されることとなり、再度回収可能性を慎重に検討いたしました。

その結果、上記賃貸等不動産に対する繰延税金資産については、将来解消見込年度のスケジュールリングを明確に行うことが困難であるとの判断に至り平成 25 年 3 月期において全額を取崩すことといたしました。

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、業績予想数値とは異なる可能性があります。

以 上